

平成30年度第1回豊田市地域保健審議会議事録

開催日時：平成30年8月7日（火）14：00～15：50

開催場所：豊田市役所東庁舎4階 東43・東44会議室

出席者（敬称略）：渡邊真（会長）、中野幸彦（副会長）、浦野滋行、小澤仁和、谷友一郎、
中田繁美、中出美代、長谷川喜代美、宮澤清人、村瀬和好、
（欠席者）岩月幸雄、渡邊丈真

（市側出席者）竹内保健部長兼保健所長、兵藤保健副部長、柴川保健担当専門監、児玉健康危機管理担当専門監兼感染症予防課長、成瀬総務課長、三輪保健衛生課長、鈴木地域保健課長、塚田子ども家庭課長、南障がい福祉課課長、松川総務課副課長、河合医師

司会

会議及び議事録の公開についての説明

当日の傍聴者数についての報告（傍聴者0名）

部長挨拶

会長挨拶

議事

○渡邊会長

それでは本日の議事に移ります。

協議事項(1)「仮称豊田市自殺対策計画について」ですが、事務局から説明をお願いいたします。

●成瀬総務課長

協議事項(1)「仮称豊田市自殺対策計画について」について説明

○渡邊会長

はい、どうも説明をありがとうございました。ただいまから、議論のほうに入りますけども、その前に1つだけ確認したいことがあるのですが、先ほど説明された、1ページ目の図3のところ、豊田市における自殺者数の構成割合から、特別に何か読み取れることはないとのことですけど、後からの説明にも関係してくると思うので、どういう年齢層で、どういう方を一番対象にして、やっとならいいかという施策を考える上で必要かと思うんですけど、豊田市の特徴というのは、あんまり説明されてなかったのですが、年代的に、例えば20代の特別な傾向と

というのは、なかったですか。

●成瀬総務課長

はい、今あらかたに会長さんからもお話がありました、1ページの資料に戻っていただきたいと思います。図3のところを見ていただきますと、二十歳未満と八十歳以上については、それぞれ3%と8%という数字ですけれども、それ以外の10代刻みの割合につきまして、多少の多い少ないはあるんですけど、15～16%前後で、平均的にというか、特に20代が多いとか、どこの年代が多いというような状況ではないということから、そういう意味での特徴的な部分はないのかなと思います。ただ、それがゆえにというか、20代から50代までの働く世代が、全体の6割以上を占めるというようなことになりますので、それは逆に特徴であるのかなと思います。これにつきましては、少し繰り返しになりますが、2ページの資料の右下をごらんください。国から示された、豊田市の重点施策ということで、②勤務・経営とございます。いわゆる働く世代の方たちが多いですよというようなことと、それから、⑤高齢者になりますが、グラフの中から特に高齢者というところは読み取りがなかったのですが、全国、全体と比較をすると、高齢者の方は多いと、そういうような結果は出ております。

○渡邊会長

全国と比較すると、ということ。高齢者の方が多いということで、今後の、どちらかという
と将来的なことも考えてということによろしいでしょうか。はい。

それでは、ただいまの説明されました内容について、ご意見やご質問等がありましたら、お
発言をお願いいたします。どなたか、ございますか。はい、中野委員よろしく申し上げます。

○中野委員

歯科医師会中野です。今、会長からご質問があった件、私も質問しようと思ったのですが、
年代による読み取れるところはなということなのですけれど、例えば、地域における相違点だ
とか、そういうものがあるのかどうなのかというところ。これについては、20代から5
0代、働きを中心となっている世代だと思うのですが、20代のアプローチと、50代のア
プローチって、おのずから違いが出てくると思うので、そのあたりを、考えていくにあたって
何か違いが明確に示されると、それなりに成果も上がりやすいのかなと思ったものですから。
すぐ答えをとというわけではないのですけれど、そういう観点で見ただけるといいかなと。
それから、地域性の違いっていうのは、私は田舎に住んでいるのですが、田舎の対策と、都
市部に住んでいう方。例えば高齢者でも、一人暮らしの高齢者と、家族と一緒に住んでいる高
齢者、それなりに違ってくると思うので、その辺のところを踏まえた上で、対策を考えていけ
るとより、密な対策になるのかなというふうに思いましたので、お願いしたいなということと。
それからもう一つ、図1のグラフで、説明書きに平成29年は大幅に減少したというふうに、
コメントが書いてあるのですけれど、何か要因として上げられるようなものがあるものでしょ
うか。それをお聞きしたかったのですが。

●成瀬総務課長

はい、まず、図の3のところでは指摘をいただきました地域性だとか、年代別の差につきましては、明確な数字としては出てはいるんですけども、年代の中の細かな部分というのは出ておりませんので、その部分をご容赦いただきたいと思います。ただ、当然のことながら20代へのアプローチだとか、50代、60代の方へのアプローチというのは当然違うことだと思いますので、計画の中で盛り込んでいきたいなと思います。

それから、地域性のお話もいただきました。具体的に言いますと旧豊田市内、中山間のところでは、状況が違うんじゃないかということなのですが、実はこれも、細かな数字が、統計の種類としては我々も入手できないという状況にあるということだけご了解ください。ただ、地域との関連だとか、地域とのつながり、また、周りの環境というものは当然違いますので、そういった環境の違いについても、十分考慮していかなきゃいけないということは承知しております。

そして3つ目でございます。平成29年にぐっと減っておるといことなんですが、正直申し上げて、わからないというところが本当のところなんです。ほぼ、毎年のように増減をがたがたと繰り返しているところについても、さっきの策定の委員会の中でもご意見をいただいたんですけども、なかなか、ううん、なんだろうなというのが、正直なところでございます。ただ、単年で見るとがたがたしておるんですけども、統計的な話になってしまいますけど、2年ごとの平均値をとって、傾向を見ていくと、県の右肩下がりとはほぼ同じような状況にあるということで、どうしても、数が100人に満たない数でございますので、こういったばらつきはあるのかなということでございます。以上です。

○渡邊会長

ありがとうございました。それでは、他にご意見等がありますでしょうか。

はい。中出委員よろしく申し上げます。

○中出委員

高齢者の場合ですと、4割ぐらい不眠を抱えていて、取り組み事業のところには鬱と書いてあるんですけど、鬱と不眠ってものすごく連動しているし、多分、不眠から鬱になっている部分もあると思うので、全体的な健康対策のところには睡眠衛生的なところも入れていくと、直には自殺のところにはかかわってきませんが、長い目で見ると、そういったところの対策にもなります。寝れないことはものすごい大きな問題ですので、特に高齢者なんかはそういう問題があるのではないかというふうに思います。

●成瀬総務課長

はい、ありがとうございます。睡眠の大切さについては、今回は自殺対策の計画ということで、名を売っておるんですけども、昨年皆様のご協力で作らせていただいた、健康づくり豊田21の計画の中で、運動することの大切さ、食事の大切さ、そして休養という意味での、健康づくりの柱の一つという意味で、当然我々も認識をしております。その中で、睡眠を取れますかとか、睡眠の大切さについては丁寧にお知らせ、周知していく必要があるかなというふうに思っておりますので、引き続き取り組みたいと思います。

○渡邊会長

ほかには、はい、どうぞ。村瀬委員。

○村瀬委員

さっきの豊田の例とかは非常に良くなって来ているということだったんですけど、豊田だけに限らず、全国的にこの数年の自殺率が減っているんですけども、これはひとつに失業率の改善とか、有効求人倍率の増大、特にこの地区は自動車産業を中心として、非常に活況ですので、失業率としても 2.3%位、有効求人倍率も 1.6 と云うトップクラスということで、こういうところが、経済のあるいは職場環境の明るい要因がデータの分に反映している部分じゃないかと思われまます。1998 年は一番悲惨な年でして、ちょうど 20 年前ですね。今まで 2 万人を超えてた、前年には 2 万数千人を超えていた失業者数が、初めて 8,000 人増えて、3 万 2,000 人に増えた年なんです。

この 1998 年というのは北海道拓殖銀行とか、長銀とか山一証券なんかが経営破綻して、全国でリストラとか、会社の倒産とか、特に住宅ローンを抱えている中小企業の中高年のサラリーマンなんかも、家計を支えきれなくなって、追い詰められて自殺者が急増しました。

しかし、1998 年から 2011 年まで降下が続き、2012 年以降、2 万人台に減っています。

経済が活況を取り戻し、失業者が減り、あるいは働く場が出来たということで、家庭崩壊とか心中することが少なくなったことが、自殺者の減少の要因の一つと思います。

もう一つの地域的な問題なんですが、日本で一番自殺率が高いのは秋田県なんです。なぜかという日本全体で人口減少が一番激しいのが秋田県です。100 万人切って、今、98 万人位です。農業県、林業県ですので、後継者不足で、そちらも今、すたれきっています。

冬になったら豪雪地帯ですので、隣の人とも会話も出来ません。村のコミュニティも全て閉ざされてしまう。孤立した生活が特に冬の間続きます。孤立感、ストレスが高い自殺率の要因の一つです。おまけに米どころで、冬になると日本酒を飲む、塩分を含んだ漬物を食べて、脳卒中なんかの死亡率も日本で一番高い所だと思います。

豊田でも旭町とか下山とか、東北と比べれば寒さも高齢化率もシビアではないですが、豊田の中心部と比べれば大変だと思いますので、中野先生がおっしゃるように年齢や地域性を加味しながら施策をすすめることが大事だと思います。

もう一つ、若年層の自殺なんですけど、9 月 1 日ショックという言葉がありまして、これは小学生、中学生、高校生が対象なんですけれども、夏休みが終わった最初の登校日ですか。この 9 月 1 日に自殺する子供さんが、ものすごく多いんだそうです。例えば 1 学期までいじめにあってた子供達が、夏休みだけは避難期間ですけど、明日から学校へ行ったら、又、いじめられるという、恐怖観念とか絶望感からですね。それで 9 月 1 日と前日の 8 月 31 日、あるいは 9 月 2 日、この 2 つが突出だそうです。これについてはもちろん学校側の目配りが大切だと思うんですけども、スクールカウンセラーの強化とかですね。

そういうことも含めて、保健部門だけでなく、こども家庭課とか、学校教育課とか、各部の連携なんかも含めて、対策を講じることが必要だと思います。

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。

経済環境とか、地域性のこととか、また若年者に対してのためになるお話をありがとうございました。そういう要素がいろいろあるので、その辺も踏まえて、各委員の発言を踏まえて、対策のほう、計画を立てていただけたらと思います。

他には、よろしいですか。それでは、一つ目の協議事項を終わらせていただきます。

続きまして、次の議事に移ります。協議事項2今年度の重点取組についてですが、初めて委員になられた方も見えますので、事務局から重点取組の概要について説明をお願いいたします。

●兵頭保健副部長

重点目標の第8次豊田市総合計画での位置づけを含めた全体の説明

○渡邊会長

それでは、「今年度の重点取組について」を議題といたします。全体で9項目ありますので、大きく4つに分けて進めていきます。初めに項目番号1から2までの説明の後に質疑応答を行いますので、よろしくお願いいたします。

まずは、項目番号1「まちぐるみで取り組む心とからだの健康づくりの充実について」、事務局から説明をお願いいたします。

●成瀬総務課長

項目番号1「まちぐるみで取り組む心とからだの健康づくりの充実」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。次に項目番号2「地域特性に応じた地域主体の健康づくりの着実な推進」について、ご説明をお願いいたします。

●鈴木地域保健課長

項目番号2「地域特性に応じた地域主体の健康づくりの着実な推進」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問がありましたら、よろしくお願いいたします。

特にありませんか。

それでは、まだ説明が他にたくさんありますので、また後ほどでも結構ですので、議事を進めます。続きまして、項目番号3から6までについての説明をお願いいたします。

まずは、項目番号3「日常における食品衛生・環境衛生の安心・安全の確保」について説明をお願いします。

●三輪保健衛生課長

項目番号3「日常における食品衛生・環境衛生の安心・安全の確保」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。それでは続きまして、項目番号4「平常時における感染症予防と発生時の対策強化」について説明をお願いいたします。

●児玉健康危機管理担当専門監兼感染症予防課長

項目番号4「平常時における感染症予防と発生時の対策強化」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。それでは続きまして、項目番号5「ラグビーワールドカップ2019ほか国際的なイベント開催時の健康危機管理」について説明をお願いいたします。

●三輪保健衛生課長

項目番号5「ラグビーワールドカップ2019ほか国際的なイベント開催時の健康危機管理」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。それでは続きまして、項目番号6「大規模災害発生時の医療救護体制及び公衆衛生活動の強化」について、説明をお願いいたします。

●成瀬総務課長

項目番号6「大規模災害発生時の医療救護体制及び公衆衛生活動の強化」について、説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。6までの説明が終わりましたので、ご意見ご質問等をお願いいたします。

宮澤委員、何かございますでしょうか。

○宮澤委員

項目番号5の(3)のところに無許可営業施設という言葉が出ていますが、これについてはまだ、把握できているのか、できていないのかというところですが。

●児玉健康危機管理担当専門監兼感染症予防課長

近隣等の苦情ですとか、そういったようなものが、当課に入っているものはございません。あと、市内では民泊の届け出をしているのは、現在2件ございますが、それらの違反の話等も出ていませんので、今現在聞いているものとして、国としてもインターネット上に、例えば民泊の届け出をしていないのに、違法にインターネット上に掲載して、宿泊させている人がいないかどうかを、チェックしておりまして、そういったことがあった場合には、旅館業の許可を

とっているかどうかというものを保健所設置市等に確認し、違反がないかのチェックを国自体も行っている状況です。なので、今のところ豊田市で違反していることは、ない状況です。

○宮澤委員

我々の業界も、その辺のところ非常に困ることが多いので、そのような情報がありましたら、こちらの方から提供させていただきます。

●児玉健康危機管理担当専門監兼感染症予防課長

お願いします。

○渡邊会長

ありがとうございました。ほかにはよろしいですか。はい、小澤委員。

○小澤委員

よろしいですか。会議の冒頭にございましたが、ここ数日はよいのですが、要は熱中症になります。猛暑日が非常に続いておりまして、残念なことに豊田市の小学校で、熱中症で亡くなった児童の方もいるかと聞いております。お子様だけではなく熱中症というのは、ここ数年だんだん地球が暑くなってきているものですから、年代を問わず、いろんなお年寄りもかかっています。ちょっと、先走って読まさせていただきましたのですが、後ほどの報告事項でもあるかと思いますが、熱中症対策の部分も、ぜひ重点取組の中に、入れこんで頂きたいと思います。30年度は既に始まっていますので、今年はこれでいいかもしれませんが、今後ずっと出てくるような気がしますので、市として、来年度以降で構いませんので、重点取組に入れていただけたらと思いますので、ぜひご検討をいただきたいと思います。

○渡邊会長

はい、わかりました。貴重な意見をありがとうございます。また、よろしく願いいたします。それでは、次に議事を進めさせていただきます。

項目番号7「人と動物の共生社会の推進」について説明をお願いいたします。

●三輪保健衛生課長

項目番号7「人と動物の共生社会の推進」について説明

○渡邊会長

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問等はいかがでしょうか。谷委員。

○谷委員

大規模災害を想定したペットの同行避難訓練というのをされていると思うのですが、これは、健常というか、病気をしていないワンちゃんだといいいのですか、いろんな災害等で、ペッ

トも病気とか、外傷とかを受けたりすることもあるのですが、これらを治療する必要もあるかと思うのですが、私たち獣医師会とも、愛護センターと避難訓練との話は出ていますが、具体的なペットの治療に関しての話し合いがあんまりされていないと思うのですが、今後、愛護センターの方たちとこういうふうなお話を進めていけたらいいんじゃないかと思うのですが、今のところ議題に上がっていないようなので、1つ定義させていただきました。

●三輪保健衛生課長

ありがとうございます。確かに、獣医師会との連携というのは希薄かなと思いますので、今後とも、災害を受けたときに、治療の必要がある動物がいると思いますので、我々職員ではなかなか、そういったところに対応できない部分でもありますので、獣医師会の方々と連携を図りながら今後、検討していきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

○渡邊会長

ありがとうございました。それでは、続きまして項目番号8の「児童虐待防止の更なる強化」及び、項目番号9の「ひとり親家庭等への支援策の充実」について、まとめて説明をお願いいたします。

●塚田子ども家庭課長

項目番号8の「児童虐待防止の更なる強化」について説明

項目番号9の「ひとり親家庭等への支援策の充実」について説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明、項目8から9に対してのご質問やご意見はいかがでしょうか。長谷川委員、よろしいですか。

○長谷川委員

児童虐待防止のところで、予防的観点から参加医療機関等との連携というのはとっても大事な点だと思うのですが、具体的に連携の方法、情報共有ですとかということではどんなふうな方向性で。

●塚田子ども家庭課長

まず、妊娠届け出証を提出してきたときに妊婦さんのほうに質問表を書き添えていただきまして、その中で、リスクがある方につきましては、産科医療機関のほうにその内容をお送りしながら、情報共有になります。育児中に虐待案件のいろんな情報が入ってくるんですけども、こちらにつきましては、要保護児童対策協議会という組織を立ち上げておりまして、この中に学校ですとか、こども園、そういったところとあわせて、医療機関にも協議会のほうに参加していただいております、総合的な検討も含めてですし、個々の事案に対する情報共有、また、発生時の通告や何かも行っていただいております。

○渡邊会長

わかりました、はい。それでは、ほかにはいかがですか。それでは、ただいま1から9までの説明が終わりました。特に全体を通してでも結構ですけど、浦野委員、何かございますか。

○浦野委員

はい。私は猿投のコミセンのすぐ近くにおりまして、`昨日から北部の拠点として、猿投コミュニティセンターの相談窓口ができていますわけですが、まだ昨日今日の話なんですけど、市民の反応っていうか、どうなんでしょう。まだそこまで聞いてないですか。

●鈴木地域保健課長

きのう開設しましたけども、実はもうお一人窓口に尋ねられてこられまして、健康相談っていう形でできておられます。まだこれから、浸透していくと思いますけども南部のほうが昨年度7月にオープンして1年たっておりますけれども、住民の人たちも含めて気軽に相談しやすい体制になってきましたし、保健師のほうも先ほど説明いたしましたように、移動距離が近くなったり、効率よく家庭訪問等行けるかなと感じています。

○浦野委員

うちの患者さんが、ご家族の方が困っている方がみえたものですから、ここの相談窓口ができるのでぜひ相談してくださいというふうな会話をしておきましたので、また行かれるかと思っておりますので、よろしくお願いします。

●鈴木地域保健課長

ありがとうございます。

○浦野委員

その辺で連携をとりながらやっていきたいと思えます。

●鈴木地域保健課長

よろしくお願いいたします。

○渡邊会長

ほかにご意見等はありませんでしょうか。それでは、事務局は各委員の発言を踏まえて、議案を進めていただくようお願いいたします。

次の議事に移ります。報告事項1「沖縄県を発端とした麻しんの流行」について事務局から説明をお願いいたします。

●児玉健康危機管理担当専門監兼感染症予防課長

報告事項1「沖縄県を発端とした麻しんの流行」について説明

○渡邊会長

ただいまの報告につきまして、ご意見やご質問等はいかがでしょう。
今回の事例があったということもありまして、予防接種のほう変更があったのですね。

●児玉健康危機管理担当専門監兼感染症予防課長

はい、これから周知していきたいと思っております。

○渡邊会長

ということですね、はい、わかりました。少しそれで、かわるということもありました。
ご質問等はよろしいですか。
それでは続きまして、報告事項2「アルコール問題における消防と福祉の連携事業」について、事務局から説明をお願いいたします。

●南障がい福祉課長及び能見障害福祉課担当長

報告事項2「アルコール問題における消防と福祉の連携事業について」説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。ただいまの報告につきまして、ご意見ご質問はいかがでしょう。よろしいですか。はい。
次に進みます。報告事項3 豊田市特定疾患患者見舞金の見直しについて、事務局から説明をお願いいたします。

●南障がい福祉課長及び能見障害福祉課担当長

報告事項3「豊田市特定疾患患者見舞金の見直しについて(案)」説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございました。それではただいまの報告につきまして、ご質問ご意見はいかがでしょう。

結局、特定疾患が331疾患に増えたということで、増えたけれども数の少ない人が多いからということもあって、助成の制度が昔からあったのを見直してということですね。そうするとやっぱり半減するという形で、これを機会に追加支援事業をやって、特定疾患の人を手厚くという形ですかね。そちらのほうで、なるべく所得とか関係なしに、公平に支援がいきわたるようにするというとも言えるかなという感じがします。

ほかには、質問等はよろしいでしょうか。はい。それでは、続きまして報告事項の4 熱中症対策について、事務局からの説明をお願いいたします。

●成瀬総務課長

報告事項4「熱中症対策について」説明

○渡邊会長

はい、ありがとうございます。小澤委員よろしいですか、何か追加することはよろしいですか。

○中田委員

すみません。

○渡邊会長

はい、中谷委員。

○中田委員

この1の市民向けのところを見ていると、なかなか在宅にいる高齢者にまで届かないような情報だと思うんですけども、そういった面の対策っていうのも必要なと思います。高齢者って、暑さ、寒さに疎くなってきて暑くても平気でうちの中において、倒れるっていうようなケースもあります。アからケまで、なかなか高齢者に直接届くような情報源ではないのかなっていうのが気になりますので、そういった対策も民生委員の方だとか、庁内のネットワークを使って取り組みをされた方が、底上げにはなるかなというのは思いました。

○渡邊会長

はい、どうぞ。

●南障がい福祉課長

福祉部でございます。私は民生委員の担当ではございませんが、8月の初旬の民生委員の集まりの中で、要援護者の名簿を皆さんお持ちですので、そういった方には、民生委員さんも健康に十分配慮していただきながら、声かけをしていくようお願いをしています。高齢、障害の施設において、施設に来られる、デイサービスに来られる、またはホームヘルパー、ご自宅のほうに行かれる方、そういうところを小まめに、熱中症の注意喚起をお願いしております。

○渡邊会長

はい、ありがとうございます。非常に大事な視点からの発言かと思っておりますので、高齢者というのは、どうしてこんなに違うんだろうというぐらい、着るものも違っている方が非常に多いので、そちらの対策もよろしく願いいたします。

ほかには、よろしいですか。ご意見、ご質問等。はい。

●成瀬総務課長

先ほどの高齢者の方というお話で、現在確かに、(1)のところは、なかなか高齢者の方には届きにくいということで、我々も反省しております。高齢者の方は紙の媒体で見ることがわかりやすいのかなということもありますので、来年度、この冬からということになると思いますけれども、比較的豊田の場合は、地域の回覧板というのがじょうずに回っておりまして、よ

く見ていただいているような状況にもございますので、紙の媒体を計画的に使っていくというふうなことは、我々も一つの課題として認識したいと思います。

○渡邊会長

ありがとうございました。はい、それではよろしいでしょうか。

続きまして、報告事項5平成30年7月豪雨の被災地への派遣について、事務局から説明をお願いします。

●柴川保健担当専門監

報告事項5「平成30年7月豪雨」被災地への派遣について」説明

○渡邊会長

ありがとうございました。ただいまの報告につきまして、ご質問ご意見等はいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、これで予定されていた協議事項と、報告事項が終わりましたので、これで進行のほうを事務局にお返しいたします。

ご協力ありがとうございました。

— 以 上 —

平成30年8月7日

議事録署名人

㊞

議事録署名人

㊞